

## 外国語活動 授業デザイン

日 時：平成25年2月15日（金）第5校時（13時15分～14時）
学 年：本校 小学部 6年
授 業 場 所：本校 小学部 6年教室

### 1. 単元（題材）名

Hi, friends2 Lesson 8 「What do you want to be?」

### 2. 単元（題材）の目標

- ・積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。
- ・どのような職業に就きたいかを尋ねたり，答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ・英語と日本語での職業を表わす語の成り立ちを通して，言葉の面白さに気づく。

### 3. 単元（題材）の指導計画 指導計画（全4時間）

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第1時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な職業の言い方を知る。</li> <li>・日本語と英語の職業の表現の違いや特徴を知る。</li> </ul>	デジタル黒板
第2時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業を表す表現に慣れ親しむ。</li> <li>・ゲームを通して職業の表現を言ったり聞いたりする。</li> </ul>	デジタル黒板
第3時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の準備をし，自分の夢を紹介したり友だちの夢を尋ねたりする表現に慣れ親しむ。</li> </ul>	デジタル黒板
第4時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝わりやすいように工夫して発表したり聞いたりする。（本時4／4）</li> </ul>	デジタル黒板

### 4. 本時の目標

- (1) 相手意識をもち，工夫して将来の夢を紹介したり，友だちの夢を聞いたりしようとする。

### 5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

活用する場面	導入・展開・まとめ
活用する者〔目的〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒〔・協同学習 〕</li> <li>・指導者〔・資料提示 〕</li> </ul>
活用するコンテンツ	・デジタル教科書，自作コンテンツ
活用する機器	・IWB（電子黒板）・TPC（タブレットパソコン）

6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	<p><b>一斉学習</b></p> <p>① 挨拶をする。「Hello, ~sensei.」 「How are you ?」</p>	IWB (指導者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>表情カードを掲示しておき、自分の気持ちを表現しやすいようにしておく。</li> </ul>
展 開	<p>「自分の将来の夢」を工夫して発表し合おう。</p> <p>②発表の紹介方法の見本のVTRを見る。</p>	IWB (指導者)	<p>【VTRを流す】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手に伝わるよう、どういう工夫をしていたかを、見るように指示しておく。</li> </ul>
	<p><b>協同学習</b></p> <p>③「自分の将来の夢」の発表の紹介方法を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジェスチャーを使う。</li> <li>声の大きさや目線など。</li> </ul> <p>④発表をする。</p>	IWB (指導者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表者が発表しやすいようにするためには、聞き手側はどうしたらいいかも確認する。</li> </ul>
ま と め	<p>⑤中学生からのビデオレターを見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本校生徒の「自分の将来の夢」の英語スピーチのVTRを見る。</li> </ul>	IWB (指導者)	<p>【VTRを流す】</p>
	<p>⑥本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラスメイトの発表についての良かったところを記入する。</li> </ul>	IWB (指導者) TPC (児童)	<p>【感想をIWBに表示する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友だちへの感想を記入する際は、夢に対する感想だけでなく、どんな風に工夫して発表していたかも記入するよう確認しておく。</li> </ul>
	<p>⑦挨拶をする。</p>		

7. 本時の評価 (評価の観点・観点別の評価を含む)

(1) 相手意識をもち工夫して将来の夢を紹介したり, 友だちの夢を聞いたりしていたか。